

「こんなメールが…」 こんなときどうする??



話の素材 (学習資料)



ホントごめん!!
送らなかつたけどちょっとヤバそうだから・・・
信頼できるあなただから送ったので、読んで、すぐにほかの人に送って
ナッ!

“11月22日(土)に〇〇県〇〇町〇〇番地で、傷害事件が起きました。
警察が動いていますが、中学生が関係しているらしいので、ここ数日の動きを確認す
るため聞き取りに回ってきます。この情報を必ず10人に送って下さい。パソコン・ケ
ータイ・ピッチそれぞれの位置情報からメールの確認ができるようになっています。
10人に送らなかつたらすぐわかるので、今すぐ送って下さい。”

★テレビ番組「〇〇でGOー!!」の企画です。
この★印の付いたメールが、担当者Y/Yから始まってどこまでつながる
かの実験をしています。急いで10人の知り合いにメールしてね!
この結果は12月25日の特番で放送されます。

これチェーンメールじゃないよ! 止めないで!!





学習のポイント

ケータイ・インターネットの世界は、瞬時に多数の情報が手に入るなどとても便利ですが、一方ではサイトへの書き込み、いじめ、有害サイトの氾濫などバーチャルな世界に入ってしまう子どもたちの現状があります。

具体的な例として、突然親しい友だちなどからチェーンメールが届き、どのように対応したらよいか分からなくなり、一人で抱え込んだり、わかっている（不安になる・面白半分に）他の友だちや知人に送ってしまったりしてしまいます。

ネット上で起こるこうした現象が、精神的な苦痛を伴い人間関係を壊したり、個人情報のバラマキになったりすることが多くあることを学習しましょう。

子どもたちを取り巻く様々な人たちが、不安や戸惑いを相談してもらえる大人になることや、そのためにも子どもだけではなく、一人一人が大切な存在だという意識（自尊感情）を高める普段の関わりあいについて確認しましょう。



すすめ方【70分】

準備物 学習資料・資料・ワークシート・グループ用記録紙

1. 「話の素材」をもとにグループ（1グループ4～5人がよい）で話し合います。
 - ①こんなメールが、あなたやあなたのお子さんに届いたことはありますか？
 - ②こういったメールの問題点は何でしょうか？
 - ③子どもたちが、なぜこういったメールのやりとりをしてしまうのでしょうか？
2. グループの発表をします。

ファシリテーターは、出た意見をふまえながら、「ネット上で起こるこうした現象が、精神的な苦痛を伴い人間関係を壊したり、個人情報のバラマキになったりすることが多くあること」を伝えても良いでしょう。
3. 子どもとの関わりについて、周りの大人たちに何ができるかを話し合います。

「ケータイ・インターネットチェックシート」を参加者それぞれに書いてもらい、個々に気になったことを出し合いながら、何ができるかを具体的に考えてみることもできます。
4. グループで話し合ったことを発表し、全体の共有の場とします。

この学習のポイント（目的）を再確認して終わります。（赤字箇所）

※ **資料1** 「チェーンメール」を参考にその対処方法を知るとともに、ケータイ・インターネット上のトラブルからくる子どもたちの不安定な心の揺れはどうして起きるのか、また、あふれる情報に左右されない力をつけるためにはどうしたらよいか、私たちが相談してもらえる大人になるためにはどうしたらよいかを考えることが大切です。

※いけないと思ったことを「だめ！」というだけではなく、なぜだめなのかを説明し、不安になっている子どもたちとともに考える大人たちの姿勢は、信頼感を生み、子どもたちが大切にされている実感（自尊感情）が持てるようになります。



資料

資料1

チェーンメール

● 迷惑の連鎖、チェーンメール

チェーンメールは、「不幸の手紙」のメール版で、受け取った人に誰かに転送させることを目的とした迷惑メールです。

転送が目的なので受信者に対して、「誰かに送らなければ不幸になる」「危害を加える」などと、脅かす内容が多く、主に小中学生などの子どもの中でやり取りされています。

大人にとってはすぐに嘘だと分かる内容も、「殺しに行く」「呪われる」などの言葉が書かれていると、どうしても不安で無視できない子どもが友人たちに送ってしまう場合があります。

また、受験のお守りや恋愛祈願などの内容のチェーンメールの場合、悪気なく転送する子どもも多いようです。しかし、チェーンメールは勝手な転送を押し付ける「迷惑メール」であり、周囲に悪影響を及ぼすこととなりますので、絶対に転送してはいけません。

なお、保護者の方は、頭ごなしに転送してはいけないと教えるのではなく、チェーンメールは他人に迷惑をかけるものであり、転送しなくても何の心配もないことを伝え、安心させてあげるようにしてください。

迷惑メール相談センターでは、不安になっている受信者のために、チェーンメールの捨て場所となる転送先アドレスを提供しています。

どうしても不安な場合は、友人・知人にチェーンメールを送ってしまう前に迷惑メール相談センターへ転送してください。



ケータイ専用アドレス

risu1@ezweb.ne.jp
risu2@ezweb.ne.jp
risu3@ezweb.ne.jp
dakef1@docomo.ne.jp
dakef2@docomo.ne.jp
dakef3@docomo.ne.jp
dakef4@docomo.ne.jp
dakef5@docomo.ne.jp
kuris1@t.vodafone.ne.jp
kuris2@t.vodafone.ne.jp

パソコンアドレス (ケータイからも可)

sun@dekyo.or.jp
mercury@dekyo.or.jp
venus@dekyo.or.jp
earth@dekyo.or.jp
moon@dekyo.or.jp
mars@dekyo.or.jp
jupiter@dekyo.or.jp
saturn@dekyo.or.jp
uranus@dekyo.or.jp
neptune@dekyo.or.jp





● どうしてチェーンメールを回してはいけないの？

送る内容にあなたは責任が持てますか？

メール本文は簡単に書き換えることができます。たくさん転送される中で、情報が書きかえられたり、危険なアドレスが付け加えられていることもあります。内容を問わず、作成者も事実も確かめることができないチェーンメールは転送してはいけません。

誰かに送るように、などと押し付けしないで！

突然送りつけられた上に、転送まで強制されて、“回さないと不幸になる”、なんてすいぶん勝手な話だと思いませんか？ 自分が受け取った時の嫌な気持ちを、また更に転送する相手に押し付けるチェーンメールは迷惑そのものです。転送してしまえば今度はあなたが迷惑メールの加害者になってしまうことでしょう。



ポイント

- ◎チェーンメールは無視して止めること
- ◎内容は全部デタラメ。安心してください
- ◎どうしても心配な時は、迷惑メール相談センターへ転送しましょう

財団法人日本データ通信協会
迷惑メール相談センター
迷惑メール対策BOOK「撃退！迷惑メール」より



資料2 「ケータイ・インターネット」チェックシート

	チェック内容	○印
1	よく、ケータイ・インターネットにかかわる事件や情報について、新聞、テレビなどで調べている	
2	ケータイ・インターネット、ケータイゲームなどの使い方について家庭で話し合っ てルールをつくっている	
3	子どもたちの使っているゲームの内容を知っている	
4	ケータイが子どもたちに今必要かどうか話し合ったことがある	
5	ケータイ・インターネットのフィルタリングについてその必要性を知っている	
6	子どもがケータイ・インターネットでの買い物をしたことがあるかどうか知っ ている	
7	子どもたちが使っているケータイ・インターネットの使用料金や、時間を確認し ている	
8	保護者として、ケータイ・インターネット使用に関して明確な意識を持っている	
9	学校・家庭がケータイ・インターネットと子どもたちの現状について協議したり して連携を図っている	
10	ケータイ・インターネット、ケータイゲームなどを使っていて困ったことがあ たらどうしたらよいか家族で話し合っている	

★どの項目が気になりましたか？

★○をつけた項目がなぜ気になったのかについて話し合みましょう



今子どもたちは、ケータイ・インターネット、オンラインゲームなどを使いたいという願いが強く、また、私たちの社会には、ケータイ・インターネット、オンラインゲーム機が普通の生活に切っても切り離せないように入り込み、当たり前のように普及、利用されている現状があります。メールやチャット、掲示板、ショッピング、オンラインゲームをしている子どもたちには、トラブルは表裏一体、いつ自分に降りかかってくるかわからない状況にあります。まず現状を知りましょう！ トラブルの対処方法を知りましょう！ そして、たくさんの情報に振り回されないように、今大切なことは何かを話し合みましょう。人と人とをつなぐ本当のコミュニケーションとは？ 自分を大切にすることとは？ 子どもの健やかな成長を目指して大人が考え、できることとは？